

教科	読書科	学年	第1学年
----	-----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
としょかんへ いこう	2	○読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。 ○学校図書館で好きな本を選んで読書に親しむ。	○読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。		○積極的に図書館について知ろうとし、学習課題に沿って読みたい本を見つけようとしている。
としょかんと なかよし	2	○読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。 ○図書館に行き、好きな本を選んで読書に親しむ。	○読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。		○積極的にいろいろな本を手に取り、これまでの学習をいかして本を選ぼうとしている。
じどう車ずかんを つくろう	5	○事柄の順序に沿って簡単な構成を考えることができる。 ○事柄の順序など情報と情報との関係について理解することができる。	○事柄の順序など情報と情報との関係について理解している。	○「書くこと」において、事柄の順序に沿って簡単な構成を考えている。	○分かりやすい説明のしかたについて興味をもち、説明の順序に気をつけながら、見通しをもって自動車図鑑を作ろうとしている。
むかしばなしを よもう	8	○読書に親しみ、いろいろな本があることを知ることができる。 (知・技(3)エ) ○語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫することができる。 ○文章を読んで感じたことや分かったことを共有することができる。	○読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。	○「書くこと」において、語と語や文と文との続き方に注意しながら、内容のまとまりが分かるように書き表し方を工夫している。 ○「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。	○積極的に世界の昔話を読み、これまでの学習をいかして感想をカードに書いて伝えようとしている。

教科	読書科	学年	第3学年
----	-----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
図書館たんていだん	1	○読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。	○読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。		○読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことを積極的に知り、学習課題に沿って学校図書館の工夫について調べようとしている。
本で知ったことをクイズにしよう	5	○幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づくことができる。 ○文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づくことができる。	○幅広く読書に親しみ、読書が、必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。	○「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気づいている。	○進んで幅広く読書に親しみ、学習課題に沿って本で知ったことをクイズにしようとしている。
おすすめの一さつをきめよう	3	○◎比較や分類のしかたを理解し使うことができる。 ◎目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。 ○目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。	○比較や分類のしかたを理解し使っている。	○「話すこと・聞くこと」において、目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選んでいいる。 ○「話すこと・聞くこと」において、目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。	○粘り強く司会などの役割を果たしながら話し合い、学習の見通しをもって考えをまとめようとしている。

教科	読書科	学年	第5学年
----	-----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
図書館を使いこなそう	1	○日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げること に役立つことに気づくことができる。	○日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げること に役立つことに気づいている。		○進んで読書が自分の考えを 広げること に役立つことに気づき、これまでの学習をいかして 本を探して、記録カードを書こう としている。
作家で広げるわたしたちの読書	5	○日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げること に役立つことに気づくことができる。 ○文章を読んでまとめた意見 や感想を共有し、自分の考えを 広げることができる。	○日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げること に役立つことに気づいている。	○「読むこと」において、文章を 読んでまとめた意見や感想を 共有し、自分の考えを広げている。	○積極的に読書に親しみ、学 習の見通しをもって本の魅力を 伝え合おうとしている。

教科	読書科	学年	第2学年
----	-----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
図書館で本をさがそう	2	○図書館に行き、自分が調べたり読んだりしたいテーマの本を探して、読む。	○読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。	○「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。	○積極的に読書に親しみ、学習の見通しをもって本の探し方を知ろうとしている。
「生きもののクイズ」を作ろう	2	○図鑑や科学的なことについて書いた本などを読み、生きものについて知りたいことを調べ、クイズを作る。	○図書館の利用方法やマナーを守り、読みたい本を4類などから探し出している。	○自分の調べたいことを図鑑や科学的なことについて書いた本から探し、クイズにしている。	○自分で探した本を進んで読もうとしている。 ○疑問を見つけて、その答えを探そうと進んで学ぼうとしている。
「お話しじゅつかん」を作ろう	5	○自分の読んだ本の中でいちばん心に残ったところを絵に描いて紹介する。	○読書に親しみ、いろいろな本があることを知っている。	○「読むこと」において、文章の内容と自分の体験とを結び付けて、感想をもっている。 ○「読むこと」において、文章を読んで感じたことや分かったことを共有している。	○積極的に読書に親しみ、学習の見通しをもって本を紹介しようとしている。

教科	読書科	学年	第4学年
----	-----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
分類をもとに本をみつけよう	4	○学校や地域の図書館へ行き、「日本十進分類法」を利用して本を探して読んだり、図書館の分類の仕方を確かめたりする。	○考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解している。 ○比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用	○「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約している。	○進んで比較や分類の仕方を理解し、学習の見通しをもって、分類記号を手がかりに本を探して読もうとしている。
「読書発表会」をしよう	5	○紹介したい本を何冊か選び、「読書発表会」で発表する。	○自分が探した本を友達に伝えたり、付箋を貼ったりしながら読んでいる。	○詩や物語などを読み、内容を説明したり、考えたことなどを伝え合ったりしている。	○進んで感想を交流することで、読書の幅を広げている。

令和7年度 評価規準

学校名:江戸川区立上小岩第二小学校

教科	読書科	学年	第6学年
----	-----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
下級生に読み聞かせをしよう	3	○下級生に紹介したい本を選び、読み聞かせをする。	○下級生が話の内容を理解したり、読み聞かせを楽しんだりするのに適切な本を選んでいる。	○下級生が、自ら進んで楽しみながら聞くように、読み方を工夫している。	○相手の年齢に応じた本を、楽しみながら読み聞かせをしている。
書評を書いて話し合おう	3	○これまでに読んだ本の中から好きな本について書評を書き、紹介し合う。	○日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気付いている。	○「話すこと・聞くこと」において、話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えている。 ○「話すこと・聞くこと」において、資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫している。 ○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。	○進んで書き表し方に着目して文を整え、これまでに読んだ本の中から好きな本について書評を書き、紹介し合おうとしている。
「読書座談会」をしよう	3	○これまでに読んだ本の中から、好きな本について、友達と紹介し合う。	○日常的に読書に親しみ、読書が自分の考えを広げることに関与することに気付いている。	○好きな本について意見や提案など自分の考えを話したり、友達の意見を聞いたりしている。	○読書座談会のために選んだ本を、進んで読んでいる。 ○友達に紹介された本を探して読もうとしている。